

平成24年度 まちづくり月間関連四行事受賞者等について

1. 第7回まち交大賞
2. 第29回まちづくり標語懸賞募集
3. 第7回住まいのまちなみコンクール
4. 第14回まちの活性化・都市デザイン競技

第7回まち交大賞

1. まち交大賞について

まち交大賞は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施、評価、改善において優れた取り組みを行った地区などを対象として表彰し、関係者の榮譽をたたえるとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的として実施するものです。

2. 主催・後援

主催：まちづくり情報交流協議会、(一財)都市みらい推進機構
後援：国土交通省

3. 実施方法

全国の市町村から応募のあった地区の中から、受賞地区を選定します。

【対象地区】

I. 完了地区

平成22年度までに都市再生整備計画事業が完了した地区
(第5～6回まち交大賞受賞地区は除く)

II. 計画地区

平成23年度において都市再生整備計画事業を実施中の地区
(第1回～第6回まち交大賞受賞地区、及び完了地区は除く)

【審査委員会】平成24年3月28日(水)

委員長 高橋洋二 日本大学総合科学研究所教授

【表彰】平成24年6月15日(まちづくりと景観を考える全国大会)等

4. 表彰

I. 完了地区

①まち交大賞(国土交通大臣賞 1地区)

地域の創意工夫を活かしたまちづくりの取り組みがなされ、都市再生整備計画の策定、事業の実施、事業の評価等において優れた地区で、全国の都市・地域再生のモデルとして特に優秀な地区

②まちづくり達成大賞(まちづくり情報交流協議会会長賞 1地区)

まち交大賞地区に次いで、上記の観点から優秀な地区

③まちづくり効果賞(3地区)

まちづくり達成大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

II. 計画地区

①創意工夫大賞(都市みらい推進機構理事長賞 1地区)

都市再生整備計画において、テーマの設定、まちづくりのアイデア、計画策定のプロセスの3つの観点から特に優秀な地区

②まちづくりシナリオ賞(2地区)

創意工夫大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

第7回まち交大賞 審査結果

賞	地区名	受賞者	概要
まち交大賞 (国土交通大臣賞)	豊後高田昭 和の町地区	大分県 豊後高田市	弱みを強みへ転換!!逆転の発想による魅力溢れるまちづくり・賑わいづくり
まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流 協議会会長賞)	真壁地区	茨城県 桜川市	歴史的資源の保存・活用と、交流人口の拡大による「歓交地」を目指したまちづくり
創意工夫大賞 (都市みらい推進 機構理事長賞)	宮市・国衙 地区	山口県 防府市	住民と協働しながら観光資源やまち並みの保存・活用、交流空間を創出する「歴史を活かしたまちづくり」
まちづくり効果賞	旧鵜沼宿・ 旧中山道地 区	岐阜県 各務原市	歴史的街道である旧鵜沼宿・旧中山道のまちなみ再生と地域の絆づくりや賑わいの創出
	大浜地区	愛知県 碧南市	地域住民との協働による「歩いて暮らせるまちづくりの実現」と「継続・成長するまちづくり」
	姫路市 都心地区	兵庫県 姫路市	歴史を育み、賑わいと感動あふれる都心の再生
まちづくりシナリオ賞	旭川都心 地区	北海道 旭川市	地域の資源を活かして拠点性の高い活力ある都心空間を創造した中心市街地の再生
	唐津市中心 市街地地区	佐賀県 唐津市	歩きたくなる街なか、住みたくなる街なか、観たくなる街なかの再生

第29回 まちづくり標語懸賞募集

1. まちづくり標語懸賞募集について

まちづくり標語懸賞募集は、まちの主人公である住民自身と自治体が共同しながら愛着と誇りのもてる「わがまち」をつくっていくための合言葉を募るもので、平成23年度は4,248通（一般の部 3,603通、児童・生徒の部 645通）の応募がありました。

なお、優秀作品については、第30回まちづくり月間のパンフレットに用いられます。

2. 第29回の募集について

国土交通省において、「地域が支える安全で安心なまち」をまちづくり月間テーマとし、まちづくりに関する様々な啓発活動を展開することとしております。

まちづくり標語においては、このテーマを受け、以下のとおり、募集を行いました。

我が国の少子・高齢化社会において、高齢者が安心して快適な生活ができるまちづくりや、災害が発生した時の被害を最小化できるようなまちづくりが求められています。

人々の絆やつながりをしっかりしたものにしていくことが大切です。

このため、地域で支える安全で安心なまちづくりについての合い言葉を募集しました。

3. 主催等

主 催 : まちづくり月間実行委員会
後 援 : 国土交通省

4. スケジュール

募 集 : 平成23年8月1日（月）～平成23年12月31日（土）
選 考 : 平成24年2月21日（火）
表 彰 : 平成24年6月15日（金）「すまい・るホール」（住宅金融支援機構内）

5. 審査委員

委員長	幸田	シャーミン	（ジャーナリスト）
委員	藤本	昌也	（建築家）
	柳島	康治	（コピーライター）
	花岡	洋文	（国土交通大臣官房審議官（都市局担当））
	井上	俊之	（国土交通大臣官房審議官（住宅局担当））
	荻原	達朗	（（公財）都市計画協会 専務理事）

第29回まちづくり標語懸賞募集 審査結果

一般の部

賞	作 品	作者氏名	住所
特 選	安心が 窓から見える 僕の町	山本 篤	新潟県長岡市
準特選	この町は一人ひとりが 安心・安全見守り隊	成田さなえ	青森県大鰐町
入 選	築こうね 安全ひろがるまち 安心つながるまち	和田 勉	宮崎県宮崎市
入 選	助けあうまち 安心安全隣り組	齋藤 誠吾	秋田県大仙市
入 選	ずっと安全 ぐっと安心 ほっとする町	高橋 隆三	神奈川県鎌倉市

生徒・児童の部

賞	作品	作者氏名	住所
特選	ぼくのまち ほこれる住みよさ二重丸 支える土台は 安全安心	坂井 敏法	新潟県新潟市
準特選	みなさんが 「ホッ」とする町 それいいね	大山 優希	東京都江東区
入選	どんな事でものりこえる 強い町を 今、つくろう	安達 有沙	茨城県 ひたちなか市
入選	安全な町 心あたたかい町 美しい町	高橋 青空	山形県新庄市
入選	笑顔はね、ささえあったら 生まれるよ	市田 悠真	石川県能美市

第7回住まいのまちなみコンクール審査報告

1. 趣旨

身近な住環境は地域の方々によって維持管理され、安全、清掃、緑化、まちなみなどが保たれています。このようなコミュニティ活動が活性化していることは喜ばしいことですが、一方では敷地の細分化による密集化の進行、緑の減少など環境の悪化も見受けられます。今後、ますます住民や住民組織による維持管理活動の進展が望まれています。このような状況を踏まえ、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰し、支援するものです。

2. 主催・後援

[主 催]

まちづくり月間実行委員会、(一社)住まい・まちづくり担い手支援機構、(財)住宅生産振興財団

[後 援]

国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、(社)住宅生産団体連合会、(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、(一財)ハウジングアンドコミュニティ財団

3. 事業実施経緯

[応募期間]

平成23年7月1日～平成23年9月12日

[審 査]

審査委員会(委員長 藤本昌也氏(建築家/社団法人日本建築士会連合会会長))において審査

第1回審査委員会 平成23年10月3日

現地調査 平成23年10月22日、29・30日、11月12・13日、12月3日

第2回審査委員会 平成23年12月20日

[審査委員](五十音順/敬称略)

委員長 藤本昌也(建築家/社団法人日本建築士会連合会会長)

委 員 井上俊之(国土交通省大臣官房審議官)

上山良子(ランドスケープアーキテクト/長岡造形大学学長)

大月敏雄(東京大学 准教授)

松井直人(国土交通省大臣官房技術審議官)

森まゆみ(作家・地域誌編集者)

森野美徳(都市ジャーナリスト)

[入選発表]

平成24年1月10日

[表 彰]

平成24年6月(まちづくりと景観を考える全国大会において国土交通大臣賞表彰)

4. 審査結果

国土交通大臣賞・・・1団体

○ 城南住宅組合(城南住宅/東京都練馬区)

住まいのまちなみ優秀賞・・・1 団体

- 桂ヶ丘自治会（桂ヶ丘／岐阜県可児市）

住まいのまちなみ賞・・・3 団体

- 桂坂地区建築協定協議会（桂坂地区／京都府京都市西京区）
- 特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会（いんしゅう鹿野／鳥取県鳥取市）
- パークプレイス大分公園通り団地管理組合法人（パークプレイス大分公園通り／大分県大分市）

国土交通大臣賞受賞

城南住宅組合（城南住宅／東京都練馬区）

城南住宅は、1924（大正13年）に東京都練馬区豊島園の近くに7ha、44区画で誕生しました。“理想的田園生活”を具現化すべく、共同借地組合を作り、地主から土地を借りて組合員に転貸する“共同借地”としてスタートしました。

戦後、宅地の細分化や、地主からの買い取り等で、環境は大きく変化しましたが、90年近い歴史とコミュニティーライフを継承しながら、共同体として緑あふれる優れた住環境維持を実現しています。



Photo Y.U

第14回 まちの活性化・都市デザイン競技

1. 主旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要です。現代の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、そしてその魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待されます。こうしたまちづくりの基本的課題を踏まえ、本「まちの活性化・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、まちづくりの企画・デザイン技術の向上、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的に平成10年度より毎年実施しているものです。

2. 競技対象地区

競技の対象地区は、全国公募に応募された候補地の中から、新潟市中央区の「萬代橋周辺地区」（約62ha）を選定しました。

3. 競技課題

対象地区について、萬代橋や信濃川を生かした新たな魅力づくり、周辺と連携した賑わい・回遊空間の形成、良好な景観形成等を実現するための様々なアイデアと都市デザインを募集しました。

4. 応募作品数

競技へのエントリーが55グループあり、最終的に提出された応募作品数は37作品でした。

5. 主催・後援

- (1) 主 催 : まちづくり月間実行委員会
(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後 援 : 国土交通省、新潟市

6. 競技実施スケジュール

- (1) 応募登録期間 : 平成23年 9月12日(月)～10月 7日(金)
- (2) 作品提出期間 : 平成24年 1月 5日(木)～ 1月11日(水)
- (3) 審 査 : 平成24年 1月24日(火)
- (4) 表 彰 : 平成24年 6月(まちづくり月間期間内)

7. 審査委員

- 委員長 : 西 村 幸 夫(東京大学教授)
- 委 員 : 石 川 幹 子(東京大学教授)

岸 井 隆 幸 (日本大学教授)
 高 見 公 雄 (法政大学教授)
 藤 本 昌 也 (建築家)
 望 月 明 彦 (国土交通省都市局市街地整備課長)
 篠 田 昭 (新潟市長)

(順不同)

8. 表彰

審査の結果、次の通り各賞が選定されました。

- 国土交通大臣賞 (1点) ・ ・ ・ 大成建設(株) (川崎泰之ほか8名)
- まちづくり月間実行委員会会長賞 (1点) ・ ・ ・ (株)日建設計 (山本卓史ほか3名)
- (財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞 (1点) ・ ・ ・ 新潟大学工学部建築学科 (岩佐明彦ほか5名)
- 奨励賞 (2点) ・ ・ ・ 工学院大学大学院工学研究科建築学専攻 (加藤正紘ほか4名)
 ・ ・ ・ 早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻 (菊池 明ほか4名)
- 新潟市長賞 (2点) ・ ・ ・ (株)北海道日建設計 (升田大輔ほか2名)
 ・ ・ ・ NPO法人地域インフラ研究会 (高橋邦夫ほか5名)

<国土交通大臣賞 受賞作品>

NIIGATA Central park ~「川が舞台、人が主役」~

川崎泰之 他8名 (大成建設株式会社 設計本部)

